

当協会が支援している団体

日本パラ・パワーリフティング連盟、城陽市ボッチャ協会

賛助会員・寄附者 (1万円以上)

50の企業、団体・個人の皆様にご支援いただいています。(2025年3月1日~2026年2月28日現在)

(有)アリムラ塗装店 (医社)石鎚会 (社福)宇治田原むく福祉会 岡田医院 樹ハウジング (有)K.E.C
京都障害厚生施設協議会 (一財)京都地域医療学際研究所がくさい病院 京都サンダー(株)
京都トヨタ自動車(株) 京都やましろ農業協同組合 クリーンカンサイ(株) (医)啓信会 京都きづ川病院
(株)cocomo.cube (株)Conditioning Lab (有)米善 (合同)C-MORISHIN'S 司法書士法人片岡事務所
(株)城南工建 城陽商工会議所 (社福)清仁福祉会 (株)セイワ工業 税理士法人経営ステーション京都
星和電機(株) 大和ハウス工業(株)京都支店 (株)武テック NPO法人ちゃれんじ (特非)で・らいと
(株)デューイテクニカル 都市建設(株) 南都商事(株) (株)原田組 (株)プットアップ・スタイル
(社福)南山城学園 宮谷自動車工業(株) 森澤金糸工業(有) (株)もりた園 (株)森忠建設造園
(有)山田商店 (株)洛南エンジニアリング ワタキューホールディングス(株) 秋山 直樹 様 石原 章子 様
菊岡 祐一 様 北尾 順彦 様 北尾 幸彦 様 鳥嶋 浩延 様 中村 祐子 様 西谷 信夫 様 三上 靖夫 様

NPO法人 京都スポーツ・障がい者スポーツ推進協会役員一覧 (令和8年3月21日現在)

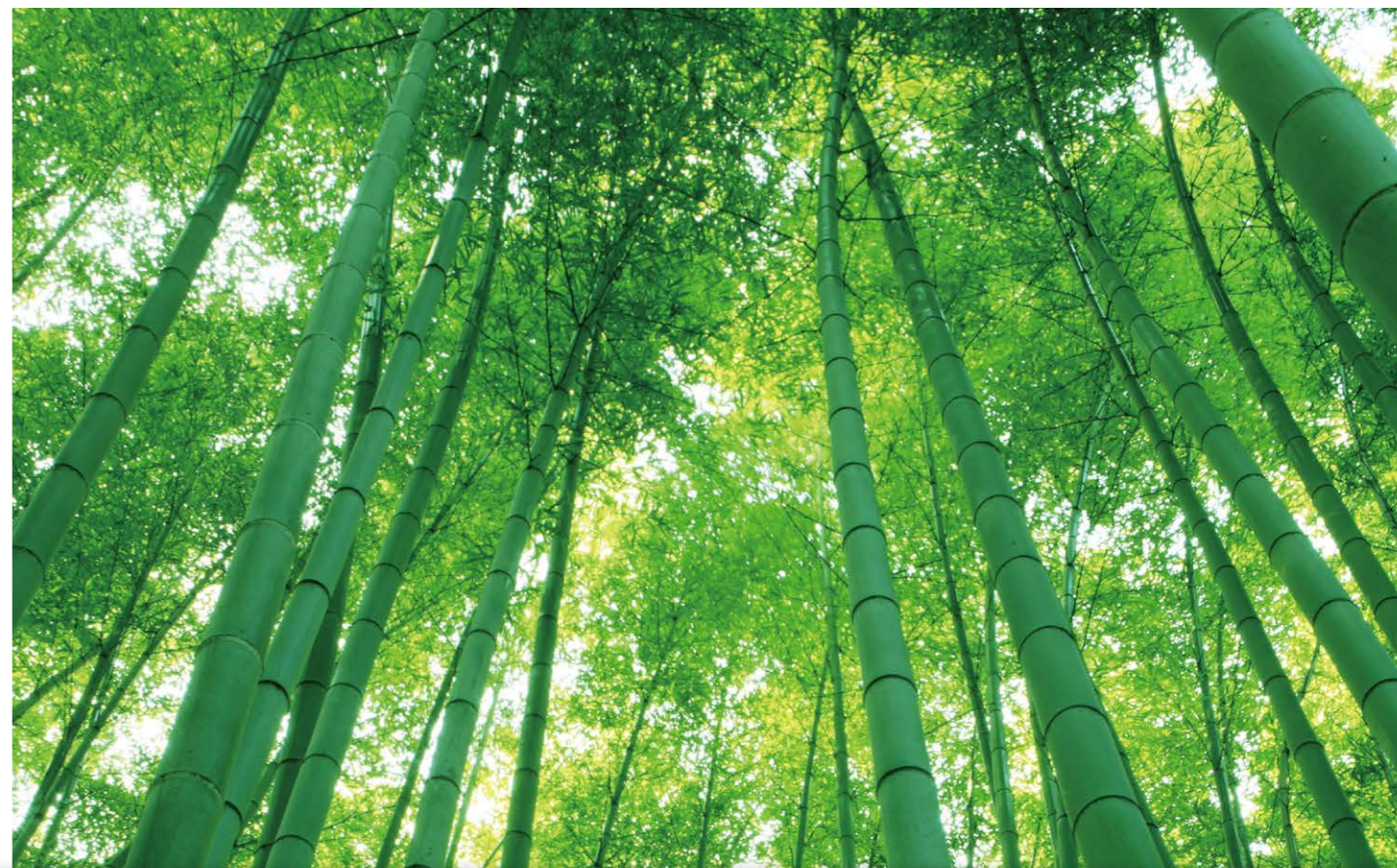
理事長 園崎 弘道
副理事長 秋山 直樹、新井 祐志、石原 章子、中村 祐子、森本 真一郎
常務理事 塚脇 康宏(事務局長兼務)
理事 伊勢村 卓司、磯 彰格、金丸 公一、北尾 順彦、中野 博美、藤原 浩芳
古瀬 善啓、北條 達也、馬淵 博行、三上 靖夫、森澤 博光
監事 西尾 善三郎、中川 周士
顧問 久保 俊一、久保田 勇、汐見 明男、徳永 大作、増山 晃章、小嶋 直樹



サン・アビリティーズ城陽における練習会での記念撮影(2026年2月14日)
(当推進協会の園崎理事長が衆議院選挙で当選後に挨拶も兼ねて訪問)

お問い合わせ先

NPO法人京都スポーツ・障がい者スポーツ推進協会 <https://www.kyoto-sports.jp/>
〒610-0101 京都府城陽市市辺柿木原48番地の40
TEL:090-8755-0554 FAX:0774-55-2855 E-mail:kyoto-sports@maia.eonet.ne.jp



Kyoto ParaSports News

京都パラスポーツニュース 第10号

令和8年(2026年)3月



第8回チャレンジカップ京都大会終了後の記念写真(撮影 西岡浩記氏)

障がい者スポーツへの理解を深め、活力ある Inclusive Society(寛容社会)をめざして

NPO法人 京都スポーツ・障がい者スポーツ推進協会
<https://www.kyoto-sports.jp>



NPO法人 京都スポーツ・
障がい者スポーツ推進協会
理事長 園崎 弘道

推進協会設立から10年目

振り返ってみますと、2015年(平成27年)に久保俊一現顧問の提唱により、パラ・パワーリフティング競技の誘致活動を京都府と共に開始し、2016年7月にサン・アビリティーズ城陽がナショナルトレーニングセンター(NTC)に文科省から指定されました。同年11月には当協会を発足させ今年で10年目となります。翌年5月にはNPO法人に認証され、障がい者スポーツに触れる会の開催やチャレンジカップ京都大会の支援など、障がい者スポーツの競技力の向上や障がい者スポーツの裾野の拡大に努めてきました。

特に、2019年6月のカザフスタン世界選手権大会に向けた壮行会や2021年7月の東京・パラリンピック大会に向けた選手壮行会の開催、2024年7月のパリ・パラリンピック大会に向けた選手壮行会の開催については、官民挙げての激励となり、京都府知事や地元城陽市長をはじめ、多くの団体や企業からご協力をいただき盛大に開催することができました。そのご厚志に深く感謝しますとともに改めて厚くお礼申し上げます。

さて、当協会は正会員、賛助会員、寄附者の皆さま方のご協力を得て、障がい者スポーツの振興・発展に一定の役割を果たしてきたと自負しておりますが、昨今は正会員数の減少や寄附の減少などもあり、運営を継続していくことが段々と困難となってきております。

ついては、この10年目の節目を踏まえて、当協会の活動を停止し、解散することが適切と判断しております。今回の10号ニュースをもって最後としますので、何卒、ご理解をお願いします。

皆さま、本当にありがとうございました。

第9回 チャレンジカップ 京都大会開催のお知らせ

パラ・パワーリフティング競技の全国大会で、全日本選手権大会とともにIPCの公認の大会でもある「第9回チャレンジカップ京都大会」が令和8年5月30日～31日までサン・アビリティーズ城陽で開催されますので、お知らせします。

令和7年
6月

第8回チャレンジカップ京都大会の開催

令和7年(2025)6月28日～29日、サン・アビリティーズ城陽において第8回チャレンジカップ京都大会が開催された。10月にエジプトで開催される世界選手権大会の代表選考会を兼ねた大会。男子97kg級では、田中翔悟選手が195kgの日本新記録を出して優勝。世界派遣標準記録を突破して代表入りを決めた。大会には京都府の西脇知事、城陽市奥田市長、松村宇治市長らが激励に駆けつけた。

当協会では例年同様、後援をして大会前日には大看板搬入や会場設営、大会期間中は受付や弁当の配布などの支援を行った。大会終了後は、撤収作業も担当。2日間で延22人のボランティアを派遣して大会を支援した。



田中翔悟選手が195kgの日本新記録を出して優勝



西脇知事が激励



左は城陽市
奥田市長
右は宇治市
松村市長



59kg級 1位 光瀬智洋選手



65kg級 1位 奥山一輝選手



ベンチ台に向かう田中翔悟選手



説明する吉田進 強化委員長



左は女子 41 kg級 1位の成毛美和選手と園崎理事長



当協会のボランティアスタッフ(6/28)



当協会のボランティアスタッフ(6/29)

令和7年
7月

城陽市民総合スポーツ大会のボッチャ大会

令和7年7月12日(土)、城陽市立青谷小学校体育館において「第44回城陽市民総合スポーツ大会」のボッチャ大会が開催された。府民総体の予選会を兼ねた大会で、児童から高齢者まで15チーム48名が出場。決勝は青谷小学校をホームとするチームゆたかと府内総合優勝の実績を誇る強豪チームアリスが激突、1対1のタイブレークの末、チームゆたかがファイナルショットで競り勝った。



優勝者チームゆたからとの記念写真

令和7年
8月

第1回城陽市体振ボッチャ大会

令和7年8月3日(日)、城陽市社会体育振興会主催の第1回ボッチャ大会が青谷小学校体育館で開催された。市内10校区から10支部が参加した。城陽市スポーツ協会と城陽市ボッチャ協会が主管。市教委の藪内孝次教育長も激励に駆けつけ挨拶された。試合結果は、優勝が寺田西支部、2位が青谷支部、3位が富野支部であった。



優勝チームの寺田西支部らとの記念写真

令和7年

9月

第9回城陽市民ボッチャ大会

城陽市教育委員会が主催し、城陽市ボッチャ協会が主管して9月20日(土)、青谷小学校体育館において、第9回城陽市民ボッチャ大会が開催された。

13チーム、42名が出場。チームカトレアがチームハクナマタタを破り優勝した。



優勝チームカトレアらとの記念撮影

令和7年

11月

南城陽中学校でボッチャ体験授業

南城陽中学校で、令和7年11月5日(水)に2クラス、同月7日(金)に2クラスと1年生120名にボッチャ体験授業を行いました。ジャックボールにうまく寄せて勝つと弾けたような歓声があちこちで上がり、楽しんでいただきました。



審判団スタッフ



5コートで体験授業を実施

令和7年

11月

JOYO産業まつりでボッチャ体験会

11月3日(日)、文化パーク城陽東館4階大会議室で恒例のJOYO産業まつりが開催された。私ども推進協会は「やってみよう!あそびたいけん」コーナーを設置。ボッチャ体験会の運営を城陽市ボッチャ協会に依頼。親子連れなど300人を超える参加があった。



文化パークでのボッチャ体験会の様子



令和7年

11月

寺田南小学校でボッチャ体験授業

令和7年11月27日(木)、寺田南小学校において、3年生65名に対してボッチャ体験授業を行いました。JOYO産業まつりなどでボッチャを体験したことのある児童が5~6人おり、楽しんでいただけたかと思えます。特に、3人が1つのチームで、どうしたら勝てるか、作戦を考えて対戦するよう努めました。令和8年2月には、古川小学校や青谷小学校でもボッチャ体験授業を行いました。



審判団スタッフ



体験授業の様子